

第3回

市民公開講座

神奈川県在宅医療推進フォーラム



『進行した認知症患者さんが食べられなくなったら』

認知症が進行すると嚥下障害や意欲低下などにより食べられなくなります。医学的に胃ろうなどの栄養管理法がありますが、そうすることが本人のためになるのか悩みます。今回、在宅療養の現場で介護スタッフやご家族が苦慮している問題を皆で考えたいと思います。

平成25年9月23日(月・祝日) 10:00~16:30

横浜市鶴見文化センター サルビアホール (JR・京急鶴見駅下車 徒歩2分)

I: 開会のあいさつ

神奈川県在宅医療推進フォーラム委員会会長 岡田 孝弘氏

II: シンポジウム (その1)

- ① 認知症とは食べられなくなる病気?
- ② お口のケアを忘れずに!
- ③ 胃ろう造設と利用の実際
- ④ 造って良かった人と困った人
- ⑤ 施設! どこまでできるのか?
- ⑥ 横浜市の現状

座長 日横クリニック 鈴木 悦朗氏
 西神奈川ヘルスケアクリニック 赤羽 重樹氏
 神の木歯科医院 瀧澤 卓也氏
 オカダ外科医院 岡田 孝弘氏
 神奈川県訪問看護ステーション連絡協議会 乙坂 佳代氏
 ゆい居宅介護支援ケアマネジャー 佐藤 和世氏
 横浜市健康福祉局高齢在宅支援課係長 石原 千草氏

III: 基調講演

『日本人の死生観』 ~人は死を選べるのか~

司会 小林クリニック 小林 雅子氏
聖学院大学大学院人間福祉学研究室教授 精神科医師 平山 正実氏

II: シンポジウム (その2)

- ⑦ 胃ろう造設に関する欧米と日本の違い
- ⑧ 胃ろうを途中から止めたら罪に問われるの?

座長 日横クリニック 鈴木 悦朗氏
 西神奈川ヘルスケアクリニック 赤羽 重樹氏
 みなと総合法律事務所 海野 宏行氏

V: ディスカッション

(シンポジスト全員参加)

座長 深澤りつクリニック 深澤 立氏
 河本クリニック 河本 和行氏

VI: 閉会の辞

神奈川県在宅医療推進フォーラム委員会副会長 鈴木 悦朗氏



参加費

無料 (定員500名、先着順)

駐車場

駐車場は有料の「シークレイン共用駐車場」のみとなっております。(サルビアホールに駐車料金割引等のサービスはございません)

事務局

オカダ外科医院内 神奈川県在宅医療推進フォーラム運営委員会事務局
横浜市旭区中希望が丘111 電話 045-390-5599

主催: 全国在宅療養支援診療所連絡会、神奈川県在宅医療推進フォーラム運営委員会
 共催: (公財)在宅医療助成勇美記念財団、在宅医ネットよこはま
 後援: 神奈川県、神奈川県医師会、神奈川県内科医学会、神奈川県看護協会、神奈川県訪問看護ステーション連絡協議会、
 神奈川県理学療法士会、神奈川県作業療法士会、神奈川県介護支援専門員協会、
 横浜市健康福祉局、横浜市歯科医師会、横浜市薬剤師会、横浜市訪問看護連絡協議会、
 横浜市介護支援専門員協議会

【このフォーラムは公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成事業です】